

## ネコが動き出した



低学年は保護者同伴で参加

## プログラミング教室初開催 伊野小・朝陽小児童が参加

八月四日〜六日、伊野小学校を会場にプログラミング教室が開催され、伊野小児童と朝陽小児童30人が参加してプログラミングの基礎を学んだ。主催したのは「未来こい!ネット」教育部会と一般社団法人「チエノワ」(代表理事・野宗輝邦)。講師を務めたのは東地区在住の船越雄太さんら5人。

### プログラミング教育必修

プログラミング教育が小中学校で必修化され、昨年度、出雲市内の小中学校には児童生徒1人1台のタブレットが配備された。「論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成」が目的だが、教科書や特設の時間もなく、学校現場では、どのような教育実践を進めるか、試行錯誤が続いている。

今回は、プロのプログラマーが「スモウルビー」というアプリを使って指導した。インターネットからダウンロードできるので家庭でも試してほしい。

この通信は伊野地区自治協会HPでご覧になることができます。

タブレット画面上にネコのキャラクターが登場する。このネコに様々な命令を与えて動きをつくらせるところから始まった。「一〇歩前に進む」「進み続ける」「端にぶつかったら、ミャ〜と鳴いて十五度右に回る」など、次々と命令を追加していく。画面上にネズミも登場させ、ネコとネズミの追いかけっこもできる。背景を変えることもできる。宇宙空間でネコを動かしている子どももいた。

子どもたちはキャラクターを動かすのが楽しくてしようがない。「どんな動きを作るのか考えるのが楽しい」(竹内一惺)

「空き家の利活用」「農山漁村地域の発展」「リノベーションの推進」を目的として今年6月に設立された。地域で活動する個人・想いを持つ個人とつながり、コミュニティをいという大きな「輪」をつなげるのがチエノワの役割だ。とくにIT・Webの領域で、地域の活動を支援する取組を行う。

社団法人「チエノワ」